

# 第56回 作品募集

## カラーフェア

応募締切

### 5月24日(金) 必着



第55回最優秀賞「本番前に」井関正敏

テーマ	自由(カラーならではの楽しさ、美しさ、夢があり、躍動感、そして話題性のあるもの、また、カラー表現や具象を捉えた作品を期待しています)
作品	カラーの単写真のみ。サイズはA4又は四つ切。一人5点まで。本人撮影の写真で合成、加工も写真表現であれば制限はありません。
応募	資格は問わず。裏面の申込書を作品と同封し、応募票(コピー、同内容のもの自作可)に記入して、作品裏に両面テープ又はテープを輪にして右下に貼付、応募先までお送り下さい。
応募料	全日写連会員 2,500円、一般・Web会員 3,000円(1人5点迄左記料金) 高校生以下は無料。郵便振替により郵便局から下記口座に送金下さい。送金手数料は各自負担。現金・郵便為替は不可です。(もし現金・郵便為替で応募料を送金の場合は審査致しません。返金も致しません) 郵便振替用紙に「第56回カラーフェア応募料」と記入。郵便振替口座番号00150-4-404593 加入者名 全日本写真連盟東京都本部 重複振り込みはご注意ください。尚いかなる場合も応募料の返金は致しません。(支部単位でまとめて応募もできます。)
審査	審査員は秦 達夫氏(写真家・関東本部委員)
賞	最優秀賞1点賞金3万円と副賞、優秀賞1点賞金2万円と副賞、朝日新聞社賞1点賞金1万円と副賞、全日本写真連盟賞1点、東京都本部長賞1点、フォトアサヒ賞1点、特選5点、入選60点(応募者数により増減あり) 特別賞: 富士フィルム賞1点、高校生以下賞2点(一人一賞)
発表	直接入賞者へ通知。(2024年6月予定) フォトアサヒに掲載予定。 選外通知は致しませんのでご了承下さい。
作品返却	選外作品の返却希望者は返却料1,000円を応募料と共に送金して下さい。
作品使用	入賞作品は新聞や電子メディアなどに掲載することがあります。
出展料	12,000円(展示作品制作費・諸経費) 入賞者には通知と共に原版提出・送金期日などお知らせいたします。期日までに提出・送金がない場合は入賞取り消しとなりますのでご了承下さい。プリントはグロッシーパー使用。
写真展	2024年9月以降(予定) 会場: 富士フィルムフォトサロン 東京(東京ミッドタウン・最寄り駅六本木)
表彰式	2024年10月以降(予定)
応募先	〒104-8011 (住所不要) 朝日新聞東京本社内 全日本写真連盟東京都本部「第56回カラーフェア」係
問合せ	全日本写真連盟東京都本部 電話070-3600-9890 ショートメール可(月~金、10時~17時)
注意	応募にあたっては必ず被写体本人、もしくは保護者の承諾及び新聞などの各媒体での掲載について使用許諾を得て下さい。応募者と被写体及びその関係者の間の紛争について、応募者が全て対処することし、主催者は一切責任を負いません。
協賛	富士フィルムイメージングシステムズ(株)、(株)ケンコー・トキナー、サンディスク(株)、(株)フレームマン、(株)イーストウエスト、ハクバ写真産業(株)、三菱王子紙販売(株)(ピクトリコ)

審査員 秦 達夫氏



長野県飯田市遠山郷(1970/4/20生)。自動車販売会社・バイクショップに勤務。後に家業を継ぐ為に写真の勉強を始め自分の可能性を信じ写真家を志す。写真家竹内敏信氏の助手を経て独立。故郷の湯立神楽「霜月祭」取材した『あらびるでな』で第八回藤本四八写真賞受賞。同タイトルの写真集を信濃毎日新聞社から出版。写真集『山岳島\_屋久島』『RainyDays屋久島』『New Zealand』、他多数。小説家・新田次郎氏『孤高の人』の加藤文太郎に共感し、『アラスカ物語』のフランク安田を尊敬している。日本写真家協会会員・日本写真協会会員・日本写真芸術専門学校講師・Foxfireフィールドスタッフ